

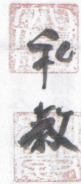
報 寺 国 分

発行
真言宗国分寺派
大本山国分寺教学部
〒531-0064
大阪市北区国分寺
1-6-18
06-6351-5637
発行責任者 糟谷 眞教



己亥

辛酉年十一月廿一日
大本山国分寺



御挨拶

「考える」をテーマに

真言宗国分寺派 管長
大本山国分寺 座主

合田 和教



新年明けましておめでとございます。旧年中は、大変な1年でした。日本各地で雨風、それも限度を越えたもの、また、地震と気をゆるめる間もない程に続きました。復興がままならないうちに、追い討ちが来る、

まずは復興及び「安全」「安心」の御祈願から今年度の始まりとなります。「想定外」とか「予想外」とかという言葉が行きかわない様にしたいたいものです。すべてが想定内であってほしく「想定外」は喜び事に限定してほしいです。

今年1年を通して、すべてにおいて「考える」をテーマにしたいと思います。

皆が一番陥りやすいのが「考える」イコール正解を導かないといけないと思ってしまうところです。「考える」って何かを考えることから始めようと思えます。結果オーライを求めるのではなく、結果オーライがついてくる様にしたいと思う様になってきています。出来るだけたくさんの人と会い、いい笑顔で過ごせる1年を心がけて、つとめたいと初頭に自分自身に言いかけさせています。

どうぞ、今年1年お付き合ってください。寺の行事等々、笑顔とともに「安心」「安全」を確かめたいと思います。どうぞよろしく御鞭撻、御指導をお願い申し上げます。

合掌

足元固め準備する1年に

顧問会会長 中村 興司

謹んで新春を寿ぎ、皆さまのご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。旧年中も国分寺運営の為、多大なご協力を皆さまより賜り、厚くお礼申し上げます。

平成30年度は一部地域だけではなく、日本全国において自然災害の多い1年となりました。豪雨・台風・地震等の自然災害により、被害を受けられました皆様には心からお見舞い申し上げます。

昨年「戊戌」という年は「大いなる繁栄の年」となるか「滅亡の年」になるか、かなり極端な年となる事を意味した年でございました。これだけ沢山の自然災害が発生した事を考えると意味が深い1年を予言していたかの様にも感じられますが、皆さまにとってはどのような1年でございましたでしょうか？

今年「己亥」の年です。これは「つちのとい」又は「きがい」と読みます。この年は「ステップアップする大事な時期にも関わらず、あふれんばかりのパワーがそれを邪魔してしまふ。まさに調子に乗り過ぎる事で落とす。」

し穴に落ち、将来のチャンスを失いかねない年」と、ありました。新しい事に「猪突猛進」で挑戦する事も大切ですが、足元を固めて、次の段階を目指す。

寄稿

中興三百年記念大法会に想つ

六大新報代表・福岡大覚寺派 別格本山大悲王院住職 喜多村 龍介

▼始めに

昨年五月十九、二十の両日奉修されました貴山「中興三百年記念大法会」に關しまして、拙文を寄稿させていただき御縁を頂きました事は、誠に有り難く存じます。

私は、一山の住職でありますが一、方で六大新報社という、明治二十五年に創刊されました真言宗の機関誌(旬刊誌)の代表を務めさせて頂いております。

す為にしつかりと準備をする1年とする必要がありそうです。

2019年は翌年の東京オリンピックの1年前でもあり、確かに「内なる充実を心がける事が良い年」の様に感じられます。平成から元号も春には新しくなり、新たな気持ちを持ちつつも、ひと呼吸をおいて希望の持てる新年をお迎え頂ければ幸いです。

この二つの立場から、今回の法会について感じましたことを書かせて頂きます。

▼明確なコンセプト

法会前に、糟谷眞教宗務長様から「快圓律師中興三百年記念大法会」天平時代から受け繋がる魅力」と題されたレジュメを送って頂きました。

一般的には、事前に送られる資料は日程が多いのですが、その資料には明確なコンセプト(全体を通しての基本的な方向性)が記されており、そこには、今法会へ取り組まれる高い理念が打ち出されておりました。

合田座主殿下を始め、事務局局長の糟谷宗務総長様、故実者の名幸観教僧正様、会奉行田中全義僧正様の並々ならぬ想いを感じました。

このレジュメの中から、改めて重要な部分のみを抜粋させて頂きます。「この度の、大本山国分寺の記念大

ようにして高めていってもらうか」日々苦悩しておられます。

そのような現状の中で、今真言宗に限らず、仏教各派の宗団が抱えている課題を解決する大きなヒントが、今回の大法会の取り組みにあるように思えました。

▼本尊との結縁灌頂について

宗本一体、宗団と本山は一体という言葉をよく聞かれますが、本山と宗団(国分寺派の末寺・檀信徒)が一体という本来の意味は、宗団が本山への帰依の心を持つという信仰上の繋がりであり、宗費を納めることは、二次的な繋がりでしかありません。

今回、ただ本山に参拝することに止まらず、本山の本尊薬師如来との結縁灌頂を開壇し、直接的な御縁、信仰上の御縁を頂かれた意義は、誠に大きいと思います。

「本山がその原点にもどる」というレジュメの一文は、本山が信仰の発信の地となることであり、そういう意味でも薬師結縁灌頂を開壇された意義は誠に大きいと思います。

▼過去の法灯を未来に繋ぐ

「過去の法灯を未来に繋ぐ」というレジュメの一文も又、今法会の重要なコンセプトであると思います。

では過去の法灯を繋ぐことはどういう事かと言いますと、それは先徳の労苦を想い、その悲願を継承していく事ではないでしょうか。

により再建されてから、300年を迎えました。今後も益々のパワーを保ちながら、皆様にも引続き「お参りに来てよかった」「楽しかった」と感じ頂けるように国分寺顧問会としても日々精進して参ります。

今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

合掌

法会は、本山のみならず、国分寺派となる寺院、教会、僧坊、各教師様に一斉大法会とも言える、大変ありがたい行事です。「この大法会に触れ、末寺同士の交流をより一層深め、宗教離れが進む現代だからこそ、我々にとつての輝く本山へ、そして全国の末寺へと、益々興隆密法「過去の法灯を、未来へ繋ぐ」これこそが我々僧侶の目的です。本山がその原点にもどり護るべきお大師様の教えを伝えること、これが仏法僧であります」

▼本山・末寺・檀信徒を繋ぐ

各ご本山や末寺対象の本山行事に取材に行きますと、「宗団帰属意識」を如何にして高めるかという事に、非常に苦勞されているというのが実状であります。

どの本山でも、「本山、末寺、檀信徒をどのように繋げば良いのか。本山への檀信徒の皆様への帰依の心を、どの

役割があるから 寺は今も存在する

「」挨拶

宗務総長 糟谷 眞教

新年明けましておめでとう御座います。先ずは昨年、平成最後の年に快圓律師中興300年記念大法会という近年では最大の法要を営む事が出来、本山伽藍の修復も相成りえたのも末寺教師檀信徒の皆様、有縁の皆様が多なる御尽力によるものと改めて深く感謝申し上げます。

振り返れば平成の世は、多くの天災そして未曾有の事件など人々の想像をはるかに超え「想定外」という言葉が私の心には強く残り、多く使われた30年でもありました。近年人々の想像を超えるスピードで変化を遂げる世の中で、想定という定義をすること自体が絵空事のようにあり、言葉だけが独り歩きしているように思えるのです。

想定では何も守ることは出来ないのが明らかになる事例が何度もありました。想定外まで頭を廻らし想定を進化させなければ何にもなりません。進化させて初めて未曾有の事柄に対処することが出来ると考えます。残念な例として世界的にも大きな事故として取り上げられている福島第一原発の原子炉

事故です。大津波の情報が事前にありながら生かすことなく想定を進化させることが出来ず、日本をそして世界をも揺るがす大事故につながりました。諸説はありますが積尊の死後およそ1000年が経った頃、仏教が日本にもたらされ、聖武天皇はその仏教をもって鎮護国家を願い中心となる国分寺を創建した頃は、現在のようないかなる技術もなく「想定」の無いまま恐ろしい天変地異に立ち向かわなくてはなりませんでした。その時人々はなす術もなくただひたすらに仏様に手を合わせ鎮護国家五穀豊穡を願い、仏教伝来から約1500年の時が過ぎ日本の風土と強く結びつきながら独自の進化を遂げ、現代においても国の隅々まで「お寺」が存在しているのは、大変大きな役割がそこにあるからなのです。そして祈りを儀式行事、書物として残し粛々と伝えてきたことこそが今にこの理由でもあるのです。

戦後の宗教政策で政治、教育から悉く宗教が取り除かれて久しいですが、仏教と共に国分寺、国分寺派末寺が未だ永劫、人々の心が潤う場所であるように日々祈るばかりです。

世界平和 国家安穩 五穀豊穡 寺門興隆 乃至法界 平等利益

平成31年元旦

合掌 眞教

▼益々のご興隆を

開創以来約千三百年、中興三百年目の新しい第一歩を踏み出されたわけですが、今法会を通じて、ご本山と末寺各位の皆様が一体となって素晴らしい法会を厳修される、その繋がりと御信仰の在り様を見せていただき、国分寺派の安泰を確信致しました。今後益々の寺門の興隆と檀信徒様のご健勝をお祈り申し上げます、私の拙い文章を閉じさせていただきます。

快圓律師中興300年記念大法会
御来賓各山主様 御芳名

- 青蓮院 門跡門主 東伏見 慈見 猊下
 大本山 中山寺 管 長 村主 康瑞 猊下
 大本山 寶山寺 貫 主 大矢 實圓 猊下
 大本山 七宝瀧寺 管 長 東條 仁哲 猊下
 四天王寺 管 長 森田 俊郎 猊下
 聖護院 門跡門主 宮城 泰年 猊下
 神護寺 貫 主 谷内 弘照 猊下
 總本山根来寺 寺務長 四柳 隆澄 様
 大覚寺 松田 俊教 様
 東光寺 長谷部 真道 様
 大乘寺 中野 英勝 様
 西明寺 佐久間 有義 様
 大本山 蓮臺寺 喜多村 龍介 様
 千如寺大悲王院 大塚 知明 様
 妙法寺 大塚 知明 様

快圓律師中興
300年記念大法会

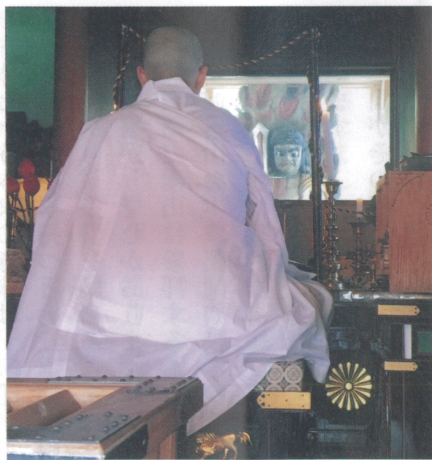
ご協力ありがとうございました



中興300年記念
護摩祈願法要

日時 5月19日～20日
場所 護摩堂

- 開白 金戸 弘賢(西福寺)
 中間 岩尾 観水(淡路高野寺)
 結願 奥村 勉教(密修寺)
 敬称略



中興300年記念 国分寺会
先師縁故者追善法要

日時 5月19日 19時
場所 霊明殿

- 導師 糟谷 眞教(最勝王院)
 経頭 名幸 観教(淡路高野寺)
 金戸 弘賢(西福寺)
 秦野 教弘(弘聖院)
 黒木 法教(龍最寺)
 瀬上 明俊(光明寺)
 平賀 照教(寶蔵寺)
 讃頭 菱田 弘惣(感応院)
 双葉 恵月(愛染院)
 敬称略



ご挨拶

昨年の成果を自信に
法会を企画立案します

執事長 名幸 観教

昨年は皆様のおかげをもちまして、中興300年記念法会をはじめ多くの法要・行事を執行させていただく事ができ、ありがとうございます。

毎年、檀信徒の皆様が参加できる参加型の法をめぐり、真言宗の法式に則り企画立案を行っております。5月



に執行いたしました『快圓律師中興300年記念大法会』におきましては、多くの国分寺派教師の皆様と一緒に勉強に励み、また中興特別企画、

『薬師如来結縁灌頂』では100名を超える役付き・裏方の皆様の協力のもと、400名を超える受者の皆様に灌頂のお授けを受けていただくことができました。私自身にとっても初めての法要を無事に執行出来まして一安心しております。



大きな法要が終わり、一つの節目となりました。また昨年の成果を自信に、今後も皆様と共に歩んでいける法会の企画立案をし、国分寺参拝後、笑顔でお帰り頂ける事を目標に進めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

合掌

300年記念法会の充実感

平賀 照教

昨年度の国分寺会は5月19日～20日の2日間に渡り行われました。19日には、10時から天神橋筋商店街をお稚児さん先頭に、たくさんの人たちに見守られながら練り歩きました。

11時から金堂にて三昧耶戒法要と護摩堂では護摩祈願法要の開白が行われました。護摩祈願法要では、全国から護摩木約2500本が集まり、3名の護摩師の方々によって2日間に渡り祈願していただきました。13時から金堂



で結縁灌頂が行われ、国分寺2階広間で阿字観、国分寺境内では青空説法が行われ、多くの人で賑わいました。19時には霊明殿で、先師縁故者追善法要が行われ、堂内には全国からの卒塔婆505体が堂内全体を包み込み、厳かな雰囲気塔婆廻向の法要が行われ、護摩堂では2座目の護摩祈願法要が行われました。

20日には、午前中から結縁灌頂が行われ、2日間に渡り約400人の人たちが国分寺のお薬師さんと縁を結び、堂内から出てくる人たちは終始笑顔で出てこられたのが、印象深く残っています。結縁灌頂が終わり13時から

は、快圓律師中興300年記念法要が行われ、堂内では各本山の管長猊下をはじめたくさんの方々から御出仕いただき、緊張感のあるなか法要が執行され、職衆37名が金堂の内陣を埋め尽くして盛大に行われ、記録、記憶に残る法要となりました。

また護摩堂では、護摩祈願法要、最後の結縁法要が行われすべての護摩木を祈願させていただきました。

法要が終わりホテル阪急インターナショナルにて、快圓律師中興300年記念パーティーが行われ、書道パフォーマンスに始まり、記憶に残るパーティーになりました。

私は快圓律師中興300年記念法会を経験し、2年間に渡り準備に関わらせていただきました。初めて結縁灌頂をやることになりました。私は結縁灌頂を受けたことがあったのですが、準備からすることがなかったのが地方の研修に出席し、結縁灌頂を勉強。私知らなかったことはわかりました。結縁灌頂をやるにあたって準備物も多く、様々な作法もあって覚えることが大変ではありましたが、得ることもあり、色々な人たちに助けていただき今回の法会が成り立ちました。また、法会を作っていく大変さを実感し、周りを見る大切さも大事だと再認識しました。今回の法会での経験を活かして、まだ足りないことがあるので、一から精進していきたいと思っております。

合掌

妙法山 別格本山 観照寺 観照寺開基80周年終え今日へ

大正10年、開基住職の佐々木観照が20歳の時、病院に入院。病気は重い肺結核でした。

日々、南無阿弥陀仏と唱えて、数年が経ち日に日に元気になり病気が治りました。ありがたいことは多くの人に



教えていかなければと思ひ、昭和7年、佐々木家は浄土真宗の為にいかにしたらいいかと尋ね回っていた時、現在の狸小路で一人の易者の老人に会い

ました。その老人は札幌の真言宗国分寺派浅草寺の住職、黒田観聖僧正でした。

これまでのことをすべて話すと、加持祈祷のある真言宗国分寺派の弟子として入門を許され、昭和10年10月18日、現在の西岡に十畳一間の本堂に仏

勅妙法観世音菩薩像を奉安しました。平成10年に新本堂を建立し、同年、真言宗国分寺派の別格本山となり、平成27年には観照寺開基80周年法要を終え、今日に至っています。

〒062-10032

札幌市豊平区西岡2条11丁目25-2

TEL 011-582-6308

FAX 011-582-2291



青龍山 慈恩寺 得度・度牒授与式・講習会

去る平成30年8月29日青龍山慈恩寺(熊本県)にて村山晃照師弟子古賀鳳晃師の得度・度牒授与式を行いました。8月の良日に得度を行い、本山より管長宛下のお手替わりとして当日名幸執事長が授与式を行いました。

また、その翌日には、慈恩寺信者様方に立ち居振る舞いや、般若心経など、經典の唱え方などの講習会を行い信者の皆様、興味深々と言った面持ちで受講されておりました。揃った經典を皆で唱えたい、綺麗な立ち居振る舞いをしていきたいというご住職の願いで実現した講習会でした。

講習後の經典の読誦は、綺麗に揃い、本尊さまも満足いただけただけではないでしょうか。今後もより良い講習をつみ重ねていきます。



御供所にて 境内の仏様方への御詠歌唱えて

竹澤 成時

さて、何を書こうかと迷っているうちに、もう2日が過ぎてしまいました。光陰矢の如し学成り難し、とはこのことか？

「かくしごと」もなかなかむずかしいものです。かくしごとと平仮名で書けば隠し事とも読める。しかしこれではない「書く仕事」である。日本語も意味が色々。御供所で参拝者のない時間帯、ポーツと外を眺めている、何となく時間を無駄に使っている様な気になる。しかし、時折、鳩がやってくる。雀も間にはさまって何を食べているのか。見ている自分も何か食べたくなって来る。鳩も雀もお薬師様の方からお不動様の方へ群れながら移動していく。参拝の人が車で入ってくると一斉に飛び立ってどこかへ行ってしまう。

またま参拝の人は顔見知りだ。顔見知りというよりも、リピーターといった方が早い。以前御朱印を貰いに来られて御朱印を書き印を押し乍らおしゃべりをした事がきっかけで、時々重ねの御朱印や護摩木を書い

たりしに来られるその時の会話を思い出した。

「おしゃべりするの、ご縁があるからですね。」から始まった。袖すり合うもタシヨウの縁、というけれどタシヨウとはどう書くか知ってますかと尋ねてみたことがあります。大概の



人は多少と答えます。その人も例外なく多少と答えられました。そこでそれは違っていないのですが、本当は「他生」ではないかと思えます。互いに他で生まれてどこかでご縁が出来、今がある。という事をおしゃべりした覚えがあります。と同時に袖すり合うも他生の縁……、次に続く文句

があるの知ってますかと尋ねた処、「???まだあるんですか」と聞かれたので「あるんですよ。それは『つまづく石も縁の端』と続くんですよ。」「袖すり合うも他生の縁、つまづく石も縁の端」なるほどなるほど面白いですね。それからのご縁となつて、今ではリピーターで時々お見えになる様になりました。御供所での情景の一コマです。

境

内の奥には大きなお不動さん。そしてご本尊のお薬師様、数々のお地藏さん、霊明殿にはご存知阿弥陀様、脇仏としてお馴染みの観音様、そして智慧の勢至様、その横にはお大師様、立派なお姿が拝めます。それぞれの仏様に御詠歌を作ってみたく以前から色々考えていました。まず、大本山国分寺のオリジナル、皆様ご存知の御詠歌です。

みほとけの まもりたまえる

こくぶんじ

ゆるぎなきよの しずめなりけり

次にご本尊お薬師様の御詠歌(創作です)

よをしずめ ころをいやす

みほとけぞ

おやくしさまの まもりとおとし

お不動様の御詠歌も創作してみました。

しんごんを みたびとなへて

ねんずれば

みのりのふどう ちからさずけん

つぎに阿弥陀様

ちるサクラ のこるサクラも

ちるサクラ

ちりゆくすえは みだのおじょうど

そして観音様

それぞれに やまよりいでし

いわしみず

ながるるさきは ふだらくのうみ

勢至菩薩様の御詠歌は大阪13佛第9番の国分寺のオリジナルです。ご存知

ない方も多い

のちのよを たのむほとけの

そのなかに

むかえますちよう ちかいとおとし

最後は皆様の大好きなお大師様の御詠歌を創作してみました。

なむだいし へんじょうこんごう

となうれば

やくなんしようじよ

ふしぎなりけり

参拝に見える方、多くはお大師様に

手を合わせて帰られます。

いろいろと書いてみましたが、まだまだ勉強が足りません。今後益々精進

して「良いおじいさん」と呼ばれる様に努力致したいと思えます。ありがとうございます。

よろこべは よろこびたちも

よろこんで

よろこびつれて よろこびにくる

合掌

ご先祖に生かされてる 命知る機会

平成30年8月16日(木曜日)大本山国分寺昭和金堂にて施餓鬼供養が行われました。

定期法要の中では、正月会と並んで沢山の方が来寺されます。皆様ご先祖様のご供養に午前中からお見えになり卒塔婆に戒名等を書いてもらい、すぐに廻向してもらいます。今年は、書き手も追いつかないほどの人が来られ、昭和金堂内は大変な賑わいでした。

地藏盆

百万遍念珠廻して願いごと

平成30年8月23日(木曜日)地藏盆を大本山国分寺境内で行いました。前日には提灯を境内一面に張り巡らし、夜には、幻想的な空間が作り上げられていきました。当日は、夕方に台風が接近するという事で時間を早めて行いました。



檀家様、地域の皆様のご協力により例年以上の子供たちが参加しました。恒例のかき氷、流しそうめん、冷やしスイカを振る舞い子供たちの楽しそうな声が境内に響いておりました。また僧分がお経をあげる中、百万遍念珠を参加者全員で廻らすのが恒例で、初めて参加する子供たちは大きな念珠を一生懸命廻らしておりました。大きな房が自分の前に来るたび「勉強ができますように」「サッカーがうまくなりますように」などいろいろなお願い事をしておりました。その姿に国分寺のお地藏さまもにっこり微笑んでいるように見えました。地域の子どもたちがお寺とのつながりを持つ良い行事になりました。

予告 春の団体参拝

年2回の恒例となっております、国分寺団体参拝が平成31年4月6日(土曜日)に行われます。行先は、大本山中山寺と清荒神清澄寺へ参拝に参ります。大本山中山寺は、聖徳太子が創建された由緒あるお寺で安産祈願でも有名なお寺です。また、平成30年に五重塔が建立されました。清荒神清澄寺は、「火の神・台

所の神」荒神さんをお祭りし、家内安全、厄除開運などのご利益があるお寺です。また、「宝塚歌劇団」月組公演「夢現無双」宮本武蔵」の鑑賞をいたします。S席での鑑賞になります。寺院参拝にご興味ある方も宝塚歌劇に興味のある方もご参加頂き有難く楽しいひと時を過ごしたいと思っております。定員は、35名で締め切りになりますので早めのご応募を宜しくお願いいたします。

『大本山国分寺』に心よせて

双葉 恵月

明けやらぬ早朝の梅田、走るタクシーの窓から見慣れた景色でホッと致しました。大都市大阪に在りて静寂な佇まいの古刹国分寺の門をくぐると、一枚一枚うす皮が剥がれてゆく様な気持ちになるのです。境内にそびえ立つ大楠木や桜や銀杏の葉づれの音や小鳥たちのさえずりが足下の石畳に染み入ります。御本尊薬師如来様はじめ国分寺の御仏様に手を合わせ巡りゆくと、そこは、古の彼方へと重なって行きます。鐘楼の響きは、何とも言えぬ心地良さを誘い、陽の光は四季折々に姿をかえ、訪ね来る人をそっと包んでくれ

ます。周りの車や飛行機の喧騒が嘘の様な空間が此処に有りました。私は、安心感を覚え、手を合わせれば身も心も一つになり、唯ただ透き通った自分になれるのです。それがとても嬉しいのです。人は各々考えも生き方も違います。この両の手を合わせる時は、世界中みな同じ様な気がいたします。何故か人のこういふところが、愛しくてならないのです。そして、国分寺を支える厚い信仰心と人情深さに心うたれました。毎朝檀信徒様が寺廻りを掃き掃除して下さったり、行事があれば温かいお力添

お参りの人々 列なして

平成30年9月23日(日曜日)大本山国分寺にて秋彼岸会が行われました。例年になく過ごしよい気候で沢山の方が参拝されました。

秋彼岸会では、先祖供養と百万枚大護摩供(中日)が行われます。午前中より先祖供養のお参りの方が列を成しました。また、添え木に願い事を書き込み、祈願する方も多く見られました。災害の多い年は、願い事が増える傾

秋の団体参拝

嵯峨天皇の写経を 拝覧した大覚寺

平成30年10月21日(日曜日)秋晴れの中、恒例の秋の団体参拝に行っていました。

国分寺でお勤めを終え、京都へ琵琶山龍最寺御一行とも合流し、大本山大覚寺へ。本年度、大覚寺では60年に1度戊戌の年に開封される「嵯峨天皇宸翰勅封般若心経」を拝覧させて頂きました。1200年前、嵯峨天皇が民の暮らした天災を憂いて書いた般若心経は、一文字一文字力強くこの国の平和を願った写経でした。

方や某テレビ番組に出たという男前マネキンを見学しました。お土産処豆屋黒兵衛に立ち寄り家で待つご家族様に沢山のお土産を買って帰る方もおられました。秋の団体参拝の無事成満を果たし、仏様に感謝を感じる1日でした。



え等々間近で知りました。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。髪を剃りに行けば、「ホンマにええの?」と心配して下さり、銭湯に入ればこの頭



緒に行こか?」とか、他人の私を助けて下さる多くの親切な方々と出会い、受けた事のない温情に一人来た私は救われたのでした。

道向う進めば日本一長い天神橋筋商店街、西の台所と呼ばれる火の如くの賑わい。大阪城のぞむ水の都の中の国分寺は、古のベールに守られた素敵なお寺だと感じ入ります。御縁を頂いた事に感謝ばかりです。

昨今、御朱印めぐり、寺めぐりが人気のようです。近隣の皆様はもとより多くの皆様に、大本山国分寺をお訪ね頂き、自分を癒し大切にして、明日への生きる力、希望の源とならん事を願っております。

合掌



です。病み上がりと思いい何気なく手を貸して下さるのです。初めての地下鉄で大荷物背負い右往左往してると「どこ行く行くねん?」ついでやから一

MK 良い材料で良い住まい

生コン・建築材料・工具資材全般・リフォーム・外構・ブロック・各種工事施工

(株)マキタ特約店
南建材社
有限会社

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目12番4号
TEL 06-6351-5516 (代表)・4698
FAX 06-6353-6439
URL <http://www.minamikenzai.co.jp>

総本山・各寺院・講社御用達

土産物一式、各種念珠、仏具仏像、位牌、軸物、仏書経木、経木塔婆、各種守札、杓子、金剛流御詠歌法具、教典一式

佳珠数屋佳兵衛
たんげ

和歌山県高野山 電話高野(0736) 2159番
振替 00960-8-68291 郵便番号 648-0211

家族葬専門葬儀社
山葬
yamasou

1. 山葬はご家族の想いを大切にいたします。
2. 精一杯お手伝いさせていただきます。
3. ご家族・友人でおくる低価格の家族葬をご提案いたします。

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町10-13 KENTUCKY II 501
TEL 06-6365-1771 FAX 06-6365-1772
携帯 090-7487-6889 (山本)
E-mail yamasoumail@gmail.com
URL <http://www.nisso-osaka.com>

仏壇 翠光堂
仏具

淡路駅前店 〒533-0032
大阪市東淀川区淡路4の9の12
電話 06(6324)0801(代表)

納得価格で、誰もが満足のいく葬儀を提供します。
無理のない、充実した家族葬

創業明治十年 直葬から一般葬まで
家族葬の川上葬祭

大阪市規格葬儀取扱指定店 厚生労働省認定 葬祭ディレクター技能審査 1級葬祭ディレクター在籍
本社：生野区桃谷1-10-10 キタ店：北区天神橋6-1-1 天王寺店：天王寺区寺田町1-3-5

電話受付 24時間 (年中無休) **0120-420-441**

創業80年 葬儀社花熊 家族葬専用式場

Flowber Hall

花熊フローベアホール 大阪市北区長柄西1丁目3-33
北斎場前 0120-130-930

寶蔵寺・南野霊園

私たちは感謝の気持ちをこめて安価なお墓を提案しています。

〒575-0022 四條畷市南野2557-1
TEL 072-862-0594

国分寺写真館

大本山国分寺 平成31年度上半期年間行事

12月31日23時45分 正月会(除夜の鐘)

1月1日 節分

2月1~7日 節分 (金光明最勝王経秘法祈願会)

3月春分の日 春彼岸会

4月6日 春の団体参拝

5月第3日曜日 国分寺会

◆節分 節分の日を中日とした前後3日間計1週間、皆様から集められた大願を成就すべくご祈願をいたします。(注)非公開の法要です。

◆春彼岸会 3月春分の日国分寺昭和金堂で行われます。皆様のご先祖様を卒塔婆に写し、午後1時より国分寺僧侶による「総回向」が行われます。また、境内

◆国分寺会 1年に1回国分寺にて執行される大本山国分寺、並びに真言宗国分寺派の大法会です。北は北海道から南は九州まで国分寺派僧侶による先祖供養やご祈願を主とした法要で、毎年前年と違った「修法」により行われています。

にて炊き出しによる「御接待」がありますので、どなた様もお誘い合わせの上、ご参拝ください。

健太のひとりごと 9

笑顔あふれる法会を

昨年度、快圓律師中興300年記念法会無事に終えることができました。良い部分もあれば反省点や課題も見つかり、大きな法会も終えたということでも再認識していきたいと思えます。良い部分としては、みんなが笑顔で行事をやり遂げたことだと思います。また国分寺会の基盤となる檀信徒参加型の法会を目指すことに繋がっているようにも感じ一つでも多く笑顔溢れる法会を作りたいと思えました。

年々、法要の規模と内容は変わりますが、国分寺の目標である「お参りに来てよかった」と多くのお声を頂けるように今後も進めて参ります。多くの皆様と一緒に手を合わせる事が出来ることを、喜び感謝いたします。

本年もよろしくお願いたしました。

平成31年国分寺会のご案内

平成31年の国分寺会は、5月19日13時より札幌市・別格本山観照寺・佐々木明教師の会奉行にて「先師御先祖縁故者追善法要」を執行いたします。

本年は法要後に金堂前にて「餅撒き」、霊明殿にて「百万遍念珠」を行います。皆様の参拝をお待ちしております。

また国分寺におきましては、塔婆供養、各種祈願を受付しておりますのでお申込み下さい。

編集後記

昨年は、多くの皆様に参拝いただきましてありがとうございます。また檀信徒の皆様にもお手伝い頂きまして5月の法要を無事に執行することができました。

年々、法要の規模と内容は変わりますが、国分寺の目標である「お参りに来てよかった」と多くのお声を頂けるように今後も進めて参ります。多くの皆様と一緒に手を合わせる事が出来ることを、喜び感謝いたします。

本年もよろしくお願いたしました。

いつしか日本の生活シーンから姿を消した懐かしい光景に会える

のままだるどくどく



オショカズミ

最終回 融通

数日前、財布を忘れて喫茶店に入り、切手と図書券で支払った友人がいます。日本でまだそんな融通がきくんだ……と、ひどく感激したのを憶えています。こうした融通は、国の発展度に関係するものが普通です。



「5年ほど前にバン格拉デシユをバスで移動中、お年寄りのご夫婦が乗つて来ました。車掌とのやりとりを聞いてみると、ご夫婦の目的地までは所持金が10タカ(30円)足りないというのです。

話し合いの末、車掌が私の所へ来てこう言いました。

あなたにとって10タカは少額ですね。この人たちのために10タカ払ってあげてください。



バスで仕事ですから、気の毒だからいい、誰でも無料で乗せてはいられないのです。かといって、お金がないという理由でバスから降ろすほどバングラデシユはシステムティックじゃありません。これこそイスラムの教えにある「余りたる者、持たざる者に与えよ」なのです。



一方、アジアの優等生ともいえるマレーシアで、11ドルしか現地通貨を持たずに16ドルの長距離バスに乗ったことがあります。

黙って乗せてくれたので、到着したら両替して後払いさせてくれるのだと思つていました。すると11ドルあたりの距離で、きつちり降ろされたのです。(しかも、バス停でもない場所です……)

置いてけぼりなんて荒技するんじゃない!!

おかげでガンリンスタンドで自転車を探して、銀行を探して走り回ることになりました。(夜でなくてよかった。)



暮らしが豊かになつてくると、規則が人の事情に優先し始めます。券売機が10円でも足りない切符を出してくれないように……。



オーバーブックで座席が足りなくなり、運転手が車掌をひざに抱っこして走ったパキスタン・ガルギットのミニバス。

治療費が払えず、庭のバナナをもちで来たバン格拉デシユの患者。(40kgくらいある)



マニエールに辺倒の日本で、心が潤うびざつになった時、アジアに出かけてみませんか? ——そこに流れる「なごみもあり」精神が、私たちの心をなごませるときは、へこたれるに違いありません。

